



# OJBひろば

一般社団法人  
大垣青年重役会  
第49年度 第12号  
平成27年 7月25日発行  
<http://www.ojb.jp>

第49年度スローガン

## ステージ 次の舞台に上がるう とことこまっすぐ

### 第49年度 - 7月例会

### 演題 『OJBを楽しむための正解のない49の問い』



吉田大助会長挨拶



講師紹介をする  
浅野信哉歴代会長



○講師 栗田 和幸 特別会員 ○とき 平成27年7月9日(木)  
藤井 重雄 特別会員 ○ところ 大垣フォーラムホテル  
大角 勇雄 特別会員 ○参加者 52名



#### 「研修は続く ～OJBを楽しむための正解を求めて～」

吉位 栄七

鯖と書かれたシールを名札に貼って入場した例会会場には、数々の魚の名前がテーブルにつけられていました。冒頭の頭の体操では、魚の難読漢字問題。釣りを愛する栗田特別会員ならではの演出で7月例会は始まりました。

前半はファンレーションの手法を使って、「ひろば」連載のOJBを楽しむための正解のない49の問い。私のグループの問いはQ36でしたが、会歴や歴任役職とともに正解と思われる方向に向かっていったように思いました。各会員の意見を聞いて、自分の意見と照らし合わせながら、会としての正解を創り上げていく。会の目的、方向性を確認するにはとても貴重な時間だったと思います。その中で、会内の事柄を自分の会社の経営に置き換えたり、応用する。会を学ぶことは、会社を学ぶことだと思います。

後半は、藤井特別会員の硬軟絶妙なバランスの司会進行で、各グループの代表者とQ1について、会と仕事・家庭・社会のつながりまで広めて、例会、役員、ひいてはOJBの本質を一緒に考えることができました。最後には、時計に象徴された時間を中心に、発言の一字一句を漏れなく板書にまとめられた大角特別会員が、会員として心構えの大切さ（スイッチを入れる事）を話されました。冊子として頂いた49の問いは、より良い正解を求めて会員間の意思統一に役立つことと思います。

特別会員になられて尚一層、OJBと現役会員に愛情を持って教えていただきました三名の皆様、本当にありがとうございました。



#### 「正解のない答え」

片桐 大介

「OJBを楽しむため49の問い」私は入年6年目になります。しかし6年目とはいえ、まだまだ経験していないことも沢山あり、「49の問い」の全てに答えることができませんでした。どの問いも、自分なりに想像し状況を思い浮かべながら回答してみると、一問一問の内容がその時その時に何気なく答えていることでも実際に今回のように大勢で考えてみると、単純にYESかNOかで答えが出ない問いが多数ありました。特に、今回の例会で栗田先輩、藤井先輩、大角先輩のディスカッションを拝聴し、先輩方の重役会への熱い思いを感じ、自分がこの先、このOJBにおいて先輩方のように熱い情熱を持ち続けていきたいと、改めて強く決意しました。そのために、今後さらに自分がOJBから学びたいこと、今までの自分の行い、これからのOJBへの取り組み方々、さまざまな事を考えることができました。もちろんこれらの問いには今すぐ出せる明確な正解はありません。しかし自分なりの答えを考え、悩み、そして導きだした答えがその時の自分だと思えます。残りの16年、OJBのさまざまな問いに自分なりに答えをみつけ、楽しんでいきたいです。どうぞ皆様、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。

最後に栗田先輩、藤井先輩、大角先輩、本日は大変貴重なお時間をありがとうございました。